

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成23年度生涯学習センター第1回運営委員会		
事務局 (担当課)	教育振興部 生涯学習センター 内線4567(757-8481)		
開催日時	平成23年4月8日(金)14時00分~		
開催場所	生涯学習センター O A ルーム		
出席者	委員	大塚啓子、大音裕子、常行貞臣、松浦孝治、堀田啓子、 石津容子、安藤真弓、渡瀬順之 (欠席)山本 朗 学校代表は後日決定	
	その他	教育長、教育振興部長	
	事務局	宮脇克己、喜田由加里、海野恵子、藤原育子	
傍聴の可否	可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	開会、挨拶、運営委員の委嘱及び任命について、自己紹介 運営委員会委員長及び副委員長の選任について 報告・議題 (1)平成22年度レフネックアンケート結果について (2)平成23年度の生涯学習センター事業について (3)平成23年度レフネック第18期生の公開抽選について (4)平成23年度レフネック第18期生の入学式について (5)その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり 会議資料は、市政情報コーナーに設置しています。		

審 議 経 過

1. 教育長挨拶

2. 運営委員の委嘱及び任命について

3. 運営委員自己紹介

4. 運営委員会委員長及び副委員長を選任について

生涯学習センターの設置及び管理に関する条例施行規則第22条第2項により委員長・副委員長の互選を諮る
委員長に大塚啓子氏、副委員長に大音裕子氏を選任

委員長 気負うことなく皆さんの意見を出していただき、和気藹々と議事が進行していくといった本来の形でしっかりと議論していきたいと思います。
3月11日の東日本大災害は胸が痛みました。毎日映像を見ているうちに、災害を受けなかった者として、日々ありがたく暮らしていることに感謝の念が生まれました。個人として被災された方に義援金という形ができると思いますが、スポーツ選手や企業家の目のくらむような募金額をみたときに我々のささやかさや無力さを感じますが、額でなく参加する気持ちだと思います。心でお助けできたらと思います。今日、沿線の桜は満開です。この季節に運営委員会が皆様とともに新たに出発できることに感謝したいと思います。委員会においてたくさん意見が出された中で、貴重な提言ができればと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

副委員長 微力ですが、ご一緒に考えていきたいと思います。皆様のお力をお貸しください。

5. 報告・議題

(1) 平成22年度レフネックアンケート結果について(資料1)

委員長 この資料は初めて手に取るものです。アンケート結果は非常に細かくとられておりました、時間内に読み込むことはとても不可能かと思っておりますので、事務局からご説明をお願いします。

事務局 ご報告させていただきます。
調査対象は21年度入学の文化人類学科と経済・経営学科、22年度入学の応用工学科と文学・文化学科、この4学科の学生266名を対象に配布し、203枚を回収しました。回収率は76.32%です
それでは、1ページから順次、報告させていただきます。
問1『レフネックはどのようにして知られましたか』には複数回答はありますが、平成22年度募集につきましては、3月広報誌に掲載する記事と入学案内冊子で知られるケースが多く、また知人からレフネックを知ったとの回答も17%あり、昨年に比べて5%増えておりました。だいたい周知されてきている結果となっております。

問2『レフネックの講義について』

申込時と比べて

入学案内と比べて 87.2%の学生から「期待以上の内容」もしくは「期待通りの内容」と回答を頂戴しております。ご意見として文化人類学科「興味のある学科と思ったが難解であった」応用工学科「応用工学は未知の世界であり講義のレベルの高さに驚いている」というご意見をいただいております。

内容について

91.1%の学生から「よく理解できる」「理解できる」と回答があったものの、文化人類学科「1年目はほとんどわからなかったが、2年目はとても楽しく、わかり易く、やっと人類学をもう少し勉強したいと思っています」経済・経営学科「一つのテーマを幅広く取上げる講義内容に満足しています」「経済学科を受講しているので、新聞、テレビ等で経済について語られている時は、丸のみでなく自分自身の考えを合わせつつ聞き耳をたてています」応用工学科「高度な講義内容で満足している」とそれぞれご意見がございました。

講義前後の予習復習について

「適宜している」「特にしていない」が同数ございました。応用工学科「レジメを前もって欲しい。予習する処が的外れになるケース多い」「予習をしなければ講義があまりにも専門的な内容なので理解しにくい」文学・文化学科「事前に講義資料をいただければ、講義後に質問しやすい」「テキストの事前配布」というようなご意見がございました。受講に対して熱心な姿勢が窺えるご意見でした。また、「資料を前日配布でないと予習できない」ということで 講義前後の予習復習を「特にしていない」の答えがこれに該当していると思います。事務局といたしましても、こうしたご意見をふまえながら講師と調整をはかっていきたいと思っております。

次に3ページ目、レフネックの事業運営について質問しております。

問3『レフネックの事業運営について』

課外講座について

例年本科と異なり平日に開催するため参加が難しいとの意見があるものの、ご参加いただいている大多数の学生からは「満足している」「おおむね満足している」の回答をいただいております。

オープン講座について

こちら平日開催のため参加が難しいことなどから「土曜日に開催してはどうか」「在校生を含め有料化にしてはどうか」といったご意見もありますが、おおむね満足いただいているといった回答になっております。

学生委員会制度について

これは他の学習施設にない制度です。学生が自主的、主体的運営意識を高く、また親睦を図るために設けておりますが、理解されていないというご意見が多数ございました。生涯学習短期大学のカラーを出す取り組みですのでいろいろのご意見がありますが、学生委員会の趣旨をわかりやすく説明して、これからも取り組んでいきたいと思っております。

次に4ページ目

問4『レフネックで学習したい講座内容は』について

1位から4位の歴史、自然科学、生命科学、心理学までが昨年と同じ結果となっております。5位の社会学と6位の文学が昨年と入れ替わっております。過去の学科を鑑みながら、レフネックの学科とオープン講座は専門的かつ高度な内容ですので学生の意見は参考としてとらまえていきたいと思っています。

問5『現在、どのような生涯学習をされていますか』

昨年のアンケート結果と比べ、ほぼ同じです。「レフネックのみ」が44.8%となっているものの、やはり53.7%の学生が「レフネック以外にもしている」と回答している結果となりました。例年の阪神シニアカレッジはもちろんのこと、今回は文化人類学科の「西宮市民大学」、経済・経営学科の「兵庫県高齢者放送大学」「大阪大学中ノ島講座」、文学・文化学科「大阪経済大学」といった各大学のオープン講座にご参加されている結果となり、大学、市、県主催の講座事業等、民間のカルチャーセンターに参加されている結果となりました。

6ページ目

問6『習得された知識や貴重な経験を活用した講師指導等はされていますか』
「している」が10.8%、「したいと思う」が11.3%、「するつもりはない」が73.9%となっています。

続いて8ページ

問7『コミュニティ活動やボランティア活動について』

「参加している」「機会があれば参加したい」と77.3%の学生から回答があるものの、先ほどの問6 経験を活用した講師指導について「するつもりはない」には73.9%の回答がございました。これは、地域社会への積極的な貢献は見られますが、自分一人で講師をすることに経験がないためか、消極的なご意見となりました。事務局といたしましても、この数字を少しずつでも上げていけるよう学生とコミュニケーションを図りながら講師指導の機会をつくっていきたいと思います。昨年のアンケート結果より若干ですが「するつもりはない」が減っております。微々たるものですが、だいたい5~10%ですが、あせらず、粘り強く学生とコミュニケーションを図りながらやって参りたいと思っております。

いろいろなコメントから学習に前向きに取り組もうという姿が見受けられます。日々の生活や生き方にまで影響していることが窺えるアンケート結果となりました。

委員長 ありがとうございます。一通りご説明してもらいましたが、皆さんからのご質問をお願いします。

このアンケート、昨年度と同じような結果でしょうか。

事務局 数字的にはいい方向になっていますが、厳しいご意見もございます。「学科

	<p>の選定に学生委員会を使ってはどうか」「授業料が安すぎる、上げてもいい」などです。また、オープン講座につきましては、学生が70名、一般が80名の150名定員ですが、希望が多くなると抽選になります。その中で「オープン講座は有料にするほうがいいのではないか」など厳しい意見もあります。</p>
委員長	<p>オープン講座は、学生の場合でも人数が多いと抽選になるのですか。</p>
事務局	<p>はい、そのとおりです。昨年の「認知心理学講座」と「宇宙科学講座」が学生の中で抽選になりました。「宇宙科学講座」は一般枠ではご応募の全員が受講していただきましたが、学生が大幅にオーバーして抽選になりました。</p>
委員長	<p>学生のオープン講座に関しては、年初にいただいている授業料とは別個のもので、希望者が多くなると全員に受講していただけないことになるのですね。前年と比べてどうですか。</p>
事務局	<p>昨年のアンケートはいいご意見が多かったのですが、今年は厳しく、「こうすればどうか」といった事務局の立場に立ったご意見も多くみられました。</p>
委員長	<p>何度か学生をされている方はいろいろなご意見をお出しになるようになりますね。何かほかにご意見ありますでしょうか。</p>
運営委員	<p>「講師の先生によって授業格差がある」「池上彰級に」といった意見もありますね。講師を選ぶのは生涯学習センター側で全部選ぶのですか、大学側でテーマをみて選ばれるのですか。学校に委託するのですか。</p>
事務局	<p>来年度をどのような学科にするかは事務局で決めます。23年度の農学科の場合、「食」をテーマに、食べ物は農業からとして「農学」を専門にされている近畿大学と神戸大学を交渉先と考え、県内の神戸大学に問い合わせました。私どもの趣旨を説明させていただき、農学部の教授から大学1、2年程度のレベルでお引き受けしますと承諾いただきました。文化遺産学科につきましても、農学と全く別のもので、学生アンケート等で長年要望の多かった歴史関連を考えて企画しました。運営委員のお1人にお諮りした上で今回は関西大学にお願いしました。講義の内容は大学でどのようなカリキュラムがよいのか検討していただいて、ご提供いただいております。</p>
委員長	<p>今度の新しい学科は、関西大学のほうでしていただいたようですね。 「講師でばらつきがある」とは、これまで見受けなかった、初めてみる厳しい意見です。私どもの方から講師の力量云々を言うのは、とても無理と思いますし、一概に言えないことと思います。</p>
運営委員	<p>ご質問の中に、生涯学習センターがどういう内容でもって何を計画するのか</p>

というものがありました。ここの目的もありますから、アンケートや人気のあるものだけではないと思います。事務局が発案して、どこに依頼するかについては事務局からの説明の通りだと思います。大学に話を持ち込まれるとき、大学側の生涯学習への考え方は以前に比べて非常にこなれていきます。どこの大学にも外部との窓口があります。社会連携センターといった窓口があり、パテントの関係やもっと興行的なものまで多くの枠があります。公開講座の依頼を受けると、依頼側の考えに基づいてはおるものの、学部や先生方の教歴、力量は様々です。依頼側から注文をつけるのは非常に難しいでしょう。どの先生と出会うのかでバラつきがあります。でも、これは決して悪いことではありません。資質の均一化はありませんし、テーマに対して、講義の内容が核心の方、周辺を扱う方など、様々なので、大学の勉強とはそのようなものです。「講師でばらつきがある」という評価はこれでよいと思います。

委員長 アンケート結果は学生一個人のご意見ということもありますので、こういうこともあると思います。なかなか触れにくいこともありますね。さて、今日の資料の中に、「レフネックのなかで学習したい講座内容」の中に福祉がありますね、資料 4 ページです。歴史、自然科学のご要望は毎回多いようですし、18 年間で学科として取り上げられたこともあります。福祉を取上げた事がありますか。まだないと思いますが。

事務局 福祉は、まだありません。

委員長 福祉は高齢化社会の要望が高いと思います。私自身も「レフネックで福祉の授業をしていただきたい」と以前に知人から伺ったこともございます。学生からの要望は少ないですね。講座の中になかなか取り上げにくいのかとも思います。将来、入れていく考えはありますか。

事務局 学科は 2 年間 40 講義です。できるものもあれば厳しいものもあります。取上げるのが厳しいものの中に福祉はあると思います。3~4 回であればできるだろうとお返事を頂戴する場合はオープン講座とします。併せて実施している 4 学科と内容が重ならないことも考えます。福祉は今後、検討課題にさせていただきたいと思いますが、なかなか難しいようです。

委員長 最近は福祉大学などありますね。

運営委員 福祉は対象を絞るのが難しいと思います。行政と施設上級者向、一般向と考えられます。福祉を他の学科同様に 2 年間 40 回ですると高度な専門的な内容だったり、行政の視点になったりします。社会福祉学、あるいはこういった視点で福祉に関わるのかなど。それに対して一般の方はむしろ身近なことを知りたいのです。例えばこういった福祉の窓口があるのか、具体的に何があ

るのかなどです。大学寄りのプロを育てる内容より、身近なことに需要があるのではないのでしょうか。生涯学習という立場で福祉を取り上げるのは非常に難しいでしょう。どれだけの方が興味を示されるのでしょうか。

委員長 レフネックの受講生の平均年齢が、今年のご応募をみると70.2歳となっています。福祉を専門分野で学問としてやって行くには、すこし高齢でしょうか。もう少し若い30~40代の方に入学していただくと意義もあると思いますね。40回のうち20回は座学、20回は中央公民館におろすなど、連携して取り上げられるとよいのかもと思います。

運営委員 広報誌等で見ていただいていると思いますが、公民館としては、コミュニティや福祉委員会とタイアップして実践的な講座に取り組んでいます。レフネックで取り上げるなら3~4回のオープン講座でしょうか、2年間の学科ではすこし難しいと思います。

委員長 では、オープン講座で取り上げていただきたいと思います。介護を取り上げるなら、やはり実践だだと思います。理論だけではできませんね。またお願いします。

運営委員 レフネックに来られる方の平均年齢が下がるかもしれません。

委員長 そうですね。平均年齢を下げたいですね。始めた当初は65歳ぐらいでした。ほかのご意見ございますか。

運営委員 そうそうたる先生がよく川西に来てくださると思って感心しています。家族も講義を聴きたいと申しております。定員70名となっていますが、会場はどちらになるのですか。

事務局 2階と3階に定員90名の講義室があります。オープン講座は定員150名としていますが、2階講義室の机をのけて椅子席を150設けます。

委員長 レフネックには歴史がありますね。当初は所長が講師のもとに、直接足を運んで交渉されたと聞いています。今は大学に依頼するようになり、このやり方は、旬な先生、現役の先生を呼べるのが素晴らしいです。

運営委員 こちらに来ると、2年間、自分の専門外の分野を学べる、素晴らしいと思います。

運営委員 川西に誇るレフネックという感じがいたします。

(2) 平成23年度の生涯学習センター事業について

事務局 資料は12ページになります。あわせて平成23年度レフネック入学案内をごらんいただきたいと思います。

1. 生涯学習事業の推進

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、次の事業を行う。

(1) 生涯学習短期大学「レフネック」の運営

事務局 大学程度の専門的で高度な学習内容を系統的に学習するため、1年次は
「農学科」(入学案内6~10ページ)
「農学から現代社会の未来を探る」というテーマで食と環境を中心とした現代社会が直面している課題をふまえながら、今後のあり方を農学の視点から16人の先生にご講義いただきます。もう1学科
「文化遺産学科」(入学案内11~14ページ)
「文化遺産学の可能性をさぐる」というテーマで多彩にわたる文化遺産の実相を学ぶとともに、文化遺産学の可能性をさぐるものという内容で9人の先生方にご講義いただきます。
両学科3月1日から募集をしております。必着4月4日で農学科113人、文化遺産学科183人の応募がありました。4月16日に公開抽選を実施する予定です。次に17期生2年次ですが、
「応用工学科」(入学案内15~18ページ)
「私どもを取り巻く周辺社会への先進工学分野の貢献」というテーマで10人の先生方をお願いしております。またもう1学科
「文学・文化学科」(入学案内19~22ページ)
「三都(京都・大阪・神戸)物語」というテーマで14人の講師をお願いしています。
4学科とも各20回で土曜日の開講で、予算額400万円を予算化しています。次はオープン講座の説明にまいります。(入学案内23~25ページ)

(2) オープン講座の開講

レフネックの学生(70名)だけでなく、一般市民(80名)も参加できる講座を開催

- ・脳科学講座
- ・都市災害講座
- ・韓国講座

事務局 レフネック学生70名と公募80名を対象として開講します
オープン講座1は、6月に脳科学講座「脳と神経のしくみ」というテーマで、大阪大学大学院生命機能研究科の小倉明彦教授にご講義いただきます。
オープン講座2は、7月に都市災害講座「巨大災害に備える」と題し、関西学院大学総合政策学部室崎益輝教授にご講義いただきます。
オープン講座3は、10月に韓国講座「食からみた韓国文化 - 日本との比較で - 」というテーマで、国立民族学博物館文化資源研究センターの朝倉敏夫教授にご講義いただきます。
オープン講座は、3コース11回の講義で予算額55万円を予算化しております。

す。

(3) レフネック 課外講座の開設

事務局 4 学科の学生が、相互交流と親睦を図るため、課外講座として

- ・ パソコン講座 (5 回コース × 4)
- ・ 郷土史講座 (5 回コース × 1)
- ・ 陶芸教室 (7 回コース × 1) を予定しています。予算額は 22 万 600 円です。

(4) レフネックの在學生、OB 生による生きがい学習塾の開催

事務局 レフネックの在學生、OB 生が講師となり対象はレフネック在學生として開催しますが、10 回予定しています。予算額 5 万円を予算化しております。

(5) レフネック入学式、修了式での学長式辞及び学長講話

事務局 入学式及び学長式辞を 5 月 14 日 (土) に開催します。学長講話を秋に、修了式及び学長式辞を来年 2 月中旬の予定で、予算額 50 万円を計上しております。

2. 自主学習グループへの支援

(1) 学生委員会の開催

各班から推薦された学生委員で構成する学生委員会を適時開催し、学生間の意思疎通を図る目的で開催

(2) レフネックにおける在學生及びOB 生の自主学習に対する、部屋の提供と助言指導

(3) 生涯学習センターを拠点とした自主学習グループに対する部屋の提供

事務局 使用登録グループとして、定期的に使用する 48 グループ、不定期に使用する 10 グループ、レフネックOB 会など 18 グループの計 76 グループが平成 22 年度末現在使用グループとして登録しております。

3. 生涯学習センター運営委員会の開催

事務局 第 2 回は秋頃を予定しておりますが、懸案等が生じましたら、更なる開催をお願いすることと考えております。

4. センターの施設管理

・ 設備保守管理委託料

事務局 昇降機保守点検、防災設備保守点検、自動扉保守点検、受水槽及び高架水槽清掃等点検、構内電話交換機器設備保守点検、建物環境衛生管理及び設備

機器運転管理業務で、予算額 254 万 9 千円を計上しております。

・業務委託料

事務局 清掃業務、夜間警備、保安警備及び受付業務、建築基準法第 12 条点検および植木剪定で、予算額 547 万 1 千円を計上しております。
以上平成 23 年度生涯学習センター事業計画の報告とさせていただきます。

委員長 ありがとうございます。この件に関しましてご質問などございませんか。

運営委員 自主学习グループへの支援について伺います。登録グループの生涯学習センターの部屋の使用料は無料ですか。レフネックを通しての登録だと無料になりますか。

事務局 すべて有料です。2 階の交流ルームはレフネックの現役生とOB生の使用は無料です。

運営委員 わかりました。

委員長 ほかにご質問はございますか。
講師料ほか予算額をあげておられますが、予算額で何かむずかしいことはありますか。何かあればと思います。

事務局 ある中であるのが市の方針になっております。できるだけ残すように努めています。

委員長 やりくりが大変ということですね。使用料が有料となりましたが、将来的にこちらを独立採算にはできないのですね。貸室の使用料は、市の歳入になるのですね。

事務局 そのとおりです。21 年度決算で使用料 89 万円となっております。

運営委員 生涯学習センターの印象は、まずレフネックですが、レフネックのほかに 76 グループのご使用があるのですね。私自身、合唱祭の練習やミュージカル控室として使用していますが、よく手入れできています。2 階と 3 階の講義室と、リハーサルに軽運動室を使っています。夜間の使用では窓を閉めて近所に迷惑とならないようにしております。

委員長 ずっと思っていますが、この施設には、もうすこしあそびがほしいですね。

運営委員 所用で行った茨木市や千葉市の生涯学習センターには、ホールがあります。

	こちらにもあればと、夢を描いています。ステージや舞台があるとほかの用向きにも運用できます。可動式の客席など多目的に使えるホールなど。
教育長	施設共有が今の考え方です。生涯学習センターでホールが必要であれば隣の文化会館やみつなかホール等を。改装などは、いかがかと。
委員長	改装でなくグレードアップする方法があるのではないのでしょうか。絵を掛けるとか。この建物は少し殺風景に思います。お金のかからない方法もありますね。
教育長	公民館での文化祭展示のようなことも考えられます。
運営委員	こちらの登録グループの展示発表と考えるとよいと思います。
教育長	スタッフが皆さんにもう少しうるおいを与えられるようにと、考えていきたいです。
運営委員	あと一つ、レフネックの授業参観など設けていただきたいと思います。
事務局	一般の方はできませんが、運営委員におかれましては、事前にお申し出いただければ結構かと思います。全員一度には難しいですが、承ります。
運営委員	また見学させていただきたいと思います。 施設内での展示のほうは、登録グループが76ありますので、発表の機会を考えていかれてはと思います。文化祭形式は無理かと思いますが、展示を自主運営による施設の活用と考えることもできます。
事務局	現在、自主学习グループの展示ルームとして2階と3階のスペースを使っております。ご案内は、毎年2月の使用説明会の時にしており、展示期間は1ヶ月間と限っておりますが、コンスタントにご使用があります。12ヶ月のうち10ヶ月は埋まります。4月は展示されていませんが5月からひと月ベースでの展示となります。運営委員は、展示される方としてはこちらの登録グループを対象に考えておられますか。
運営委員	使用されるかたは登録グループ限定とされるのがよいと思います。
委員長	施設内に自動販売機などはありますね。学生が休憩のとき利用できますね。
運営委員	一般の方が気楽に立ち寄れる雰囲気ではないと思います。
委員長	入り口すぐにソファでもおいて気楽な雰囲気があるとよいのですが、いきな

り事務所になっていますね。用がないと来にくいようにも思われます。構造もありますので、植木や調度品など雰囲気を考えていただければと思います。

(3) 平成23年度レフネック第18期生の公開抽選について

委員長 事務局、説明をお願いします。

事務局 入学案内2ページをご覧ください。
入学までといたしまして、「募集定員を超過したときは4月16日土曜日午前10時より公開抽選を実施します」としておりますが、すでに定員を超過しており、公開抽選が決定しております。
資料6(14ページ)にありますが、応募は農学科が113人、文化遺産学科が183人となっております。抽選の方法については、以前より審議していただいておりますが、(資料14ページ)このなかで過去にレフネックに応募したが一度も入学したことがない方が農学科6人、文化遺産学科は2回落選した方がお2人、1回落選した方が24人で合計26人が優先枠の対象となっております。優先枠の抽選の仕方についてご審議をお願いします。なお、抽選の立ち会いについては、例年委員長と副委員長をお願いしており、今年度も正副委員長をお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。よろしくをお願いします。

委員長 公開抽選は4月16日10時からですね。では委員長、副委員長でまいりたいと思います。

運営委員 最年少が15歳ですね。

事務局 そういった方が、入っていただけたらと思っております。高校一年生です。

運営委員 年齢制限はないのですか。

事務局 ございません。

運営委員 OBからの応募が176人となっておりますが、一度受けられて、またと思う方がいらっしゃるのですね。はじめての方より多いようです。

委員長 ここ何年か、委員長、副委員長で抽選に立ち会いをしております。抽選の方法はよくできています。札を取るとき、不思議と番号が続く時、責任を感じます。不正など一切ありません、よい方法と思っておりますが、この15歳の方を落としたらどうしようかと思えます。前年の形で抽選をおこなうのですね。

事務局 優先枠について審議をお願いします。農学科の6名については問題ないと思いますが、文化遺産学科の優先に、今までに2回落選している方がお2人おられます、どのように取り扱いさせていただいたらよいのか審議をお願いしたいと思います。

運営委員 今までにないことですね。

事務局 昨年の文学・文化学科のご応募が多かったので予想していたことですが、今後も続くことと思われます。

委員長 今回20名の優先枠のなかで2人を組み込んでしまうのか、2人を特別な枠で当選とするかですね。特別扱いとするか、26人同列とするのかですね。特別なことをする場合、但し書き等必要でしょうか。

事務局 今回の2名が来年以降、増えていくとも想像できます。

委員長 この際ですから規則化していくことも考えられます。

運営委員 優先枠2名をどうするのか、初めての枠をどうするのか、2点問題があります。

事務局 一度抽選に外れた方は、優先枠になります。今後2回落ちる方がさらに増えていく可能性はあります。

教育長 優先で外れた方の2回目の抽選はOB、初めての方と同時にありますね。先ほど委員長がいわれたように2回外れた方の枠を特別に作る事ができればよいのですが、今後、この人数が増えてきた場合も考えられます。

事務局 今回は募集要項に書いているとおりに抽選しようと思います。来年以降につきましては、応募の状況と当選の状況も加味して抽選できるソフトなどあるようですので、次回までに提示できればと思います。

運営委員 確率のよい方がおられるのですか。

委員長 5回以上の方は遠慮していただくとか。

運営委員 この件につきましては、優先枠の定員を設けた当初にも協議しました。とおる人は何度もとおるので優先枠が必要と考えました。抽選に外れ一度も入学したことがない人、初めて応募した人、OBの3つの枠で抽選をすることもできると思います。

委員長 とりあえず今回は 2 回落ちている 2 名の扱いですね、入れてあげてはいいかがですか。

教育長 役所の立場では特例は認めたくないです。

運営委員 入学案内書に記載のとおりに進めるのがよいです。例外をすると誤解される可能性があります。

委員長 苦情のもとになってはいけませんので、これまで通りをお願いします。

事務局 はじめに 26 名から優先枠 20 の抽選をして、残った 6 名は一般にもう一度入れて抽選をさせていただく 2 回抽選できる有利な部分はありますので、そのようにさせていただきます。

また、先ほどの件ですが、手元のデータでは 9 回申込みで 8 回入学されている方もおられます。6 回入学した方もおられますが 4 回申し込んで 1 回という方もあります。

委員長 公平にした上のことですからやむを得ないと思います。

(4) 平成 23 年度レフネック第 18 期生の入学式について

委員長 事務局、説明をお願いします。

事務局 平成 23 年度レフネック第 18 期生の入学式は平成 23 年 5 月 14 日土曜日午前 10 時から行う予定です。委員の皆様方へはまたご案内させていただきますが、ご臨席いただきますようお願い申し上げます。なお委員長には記念撮影がありますので、9 時 30 分までにこちらにお越しいただきますようお願い申し上げます。

委員長 審議のほうが順調に進んで参りましたが、その他なにかございますか。

(5) その他
特記事項なし。

4 . 閉会